

2014 秋の教育普及プログラム 造形ワークショップ

「組紐体験講座～湘南の風景の色を組む～」の様子

組紐の歴史や技術に造詣が深く、業界第一人者として知られる道明三保子先生（文化学園大学名誉教授）を講師にお迎えして開かれました。開催中の企画展「明治を歩くー湘南と武蔵野」にちなみ、テーマは「湘南の風景の色を組む」。アトリエには展示作品に描かれた色彩と同じ色の紐が並びました。

組紐の歴史の勉強から始まったワークショップでは、中央に穴が空いた丸台と呼ばれる台の上で穴に通した紐を交互に組み替えて色彩豊かな組紐ストラップを作りました。組紐体験が初めてとなる受講者は、組み順を途中で間違えるなど悪戦苦闘しながらも、丁寧な解説とスタッフの方のサポートにより、終盤はずいぶんスムーズに組むことが出来るようになりました。湘南風景らしく空や海の水色が映える素敵なストラップを手にとり皆さんとても満足そうでした。

（美術館 T.T）

- 実施日 平成 26 年 10 月 10 日（金） 13：30～15：30
- 講 師 道明三保子（文化学園大学名誉教授）
- 対 象 どなたでも
- 参加者 20 名

1



多くの方が受講できるよう、アトリエを広く使って

2



まずはレクチャーから

3



これが丸台

4



紐を絞るように組んでいきます

5



描かれた湘南の海がモチーフ

6



組紐ストラップの見本

● 講師プロフィール

道明三保子（文化学園大学名誉教授）

文化学園大学（旧文化女子大学）名誉教授。組紐教室や講演を通して、日本独特の伝統工芸である組紐の研究普及に努める。東京大学文学部美術史学科卒、同大学院修士課程修了。フランス、リヨン織物美術館で学ぶ。文化女子大学教授、文化学園服飾博物館学芸室長、放送大学客員教授などを務める。現在、平山郁夫シルクロード美術館理事、大日本蚕糸会評議員。蚕糸功績賞受賞。著作は共著『アジアの風土と服飾文化』、監修『すぐわかる染め・織りの見分け方』など。